

憲法しんぶん速報版

第162号

2007年5月9日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

憲法60年記念日行動

改憲反対・9条守れ・改憲手続き法案阻止を！ 全国で多彩な行動

憲法60年の5月3日は、全国で多様な取り組みが展開され、憲法改悪反対・改憲手続き法案阻止を願う人たちのかつてない決起の場となりました。東京の5.3憲法集会への6000人、パレードへの7000人の参加をはじめ、憲法会議の集計では、45都道府県で計35386名(9日段階)が参加しました。これは昨年への倍近くにのぼるものです。他方、改憲派は鳴り物入りで「新しい憲法を作る国民大会」を開催したものの、700人の参加に終わっています。

■ 5・3行動 全国の特徴

各地では憲法会議、実行委員会、「9条の会」などが主催して取り組まれ、規模も例年をはるかに上回りました。参加者は愛知3000人、京都2400人をはじめ、宮城1000人、群馬1000人、愛媛1500人、沖縄1500人等となっています。北陸でも大きな構えで取り組まれ、石川800人、富山700人、福井700人と盛会でした。その内容も多彩で豊かです。北海道の北見では、「日本国憲法を読む103人の集い」が、帯広では「5月3日にみんなで日本国憲法を読む会」が開催されました。その後、「平和の種行動」「咲かそう憲法9条」と銘打ってデパート前でコスモスの種350袋を配布しました。

■ 改憲手続き法案めぐって緊迫

与党は、11日の特別委員会、14日の本会議で改憲手続き法案の採決をめざしています。一方、大詰めの情勢に応じて連日、座り込み行動、委員会傍聴、議面集会等が取り組まれています。情勢にふさわしく政党、議員に対するFax・ハガキ、緊急の行動配置が求められています。

これらの行動は、石川でNHKTVと民法3社が報道するなど、各地のマスコミが大きく扱っています。

各地の報告から (N01)

《北海道》

- 「許すな壊憲！道民集会」。あいさつ・竹中雅史弁護士、講演・坂本修弁護士、報告・AALAの影山あさ子、藤本幸久画監督、来賓・紙参院議員
- 「憲法を守ろう5・3リレートーク」（札幌・大通公園）。
- 北見市「第23回日本国憲法を読む103人のつどい」講演・奥野恒久室蘭工大准教授。114人参加。
- 江別市「戦争できる国づくりNO！憲法60年記念江別集会」講演・石純姫苦小牧駒沢大学准教授、劇団「ども」出演、6人が発言。145人参加。
- 帯広市。参加者136人で憲法朗読、農民連劇団が出演、講演・大地巖共同センター事務局長。
- 十勝九条の会。帯広市のデパート前で「平和の種」行動。45人参加。
- 網走市「網走憲法を語る集い」6人が発言。85人参加。
- 函館市。5団体10人の参加で花見客が多い五稜郭前でビラ350枚配布。

《福岡》

- 「憲法施行記念集会」講演・脚本家・作家のジェームス三木、天神・都久志会館で。650人参加
- 北九州市「北九州憲法集会」あいさつ・弁護士・実行委員長の多賀喜悦男、漫談・木藤なおゆき、パネルディスカッション—教育、医療、労働現場の告発（北九州ムーブ）。400人参加

■ 参考資料

「新憲法制定議員同盟」総会議事録

- 一、開催日時 平成十九年三月二十七日（火） 午前九時三十分
- 二、場 所 衆議院第二議員会館
- 三、
 - 1、中曽根会長挨拶
歴史の古い当議員同盟は、故桜内義雄会長ご逝去の後、会長が空席になっていたが、最近の諸動向を踏まえ、あえて私が会長職を引き受けることにしたのでよろしくお願ひしたい。
 - 2、名称変更
議員同盟の名称を「新憲法制定議員同盟」とする。一了承
 - 3、趣意書改訂
趣意書（昭和三十年制定）は古くなったので改訂したい。改定案については中曽根会長に一任する。一了承
 - 四、新役員の承認一了承される。
 - 五、会員の現状
会員の現状について事務局より次の通り報告があった。
総会員数 百九十名
現職議員 （衆）百十四名
（参）三十三名
前・元議員 四十三名
 - 六、今後の活動について意見交換
 - 1、護憲派の運動（例えば9条の会）が盛んになっているので、是非当議員同盟が中心になってこれに対抗する運動を強力に展開してゆくべきである。
 - 2、地方で活動の強化をすべきである。
 - 3、経済界と連携をはかるべきである。
 - 4、設立当初から形式上は超党派の議員同盟となっているが当面は自民党所属議員を中心に活動を推進してゆく。
 - 5、自民党の憲法草案は第一次案草案として位置づけ今後必要となれば改定作業にも取り組んでゆく。